

# 海軍公報

第三千六十八號

大正十二年一月六日(土)

海軍大臣官房

## ○令 達

官房第一〇號

大正十一年十二月一日以降舞鶴鎮守府ヨリ他鎮守府ニ

所管ヲ移サレタル艦船ノ乗員ニシテ勤務地ヲ轉スル者

ニハ其ノ際轉勤ノ例ニ準シ大正九年官房第三三九二號

ニ定ムル移轉料ノ半額ヲ支給ス但シ家族移轉料ノ支給

ヲ受ケサル士官及候補生ハ此ノ限ニ在ラス

大正九年官房第三三九五號ニ依リ家族移轉料ノ支給ヲ

停止セラレタル者ニシテ前項ニ該當スルトキハ其ノ停

止事項消滅シタルトキ前項ニ依リ移轉料ヲ支給ス

大正十一年十二月一日以後ニ於テ舞鶴鎮守府ヨリ他鎮

守府ニ兵籍ヲ轉セラレ艦船ニ便乗勤務地ヲ轉スル特務

士官、准士官及下士官兵ニハ大正九年官房第四一九三

號ノ規定ニ拘ラス第一項ノ移轉料ヲ支給ス

安藝、薩摩及沼風ノ乘員(特務士官、准士官以下

ハ兵籍ヲ轉シタル者)ニハ此ノ

際第一項ニ據リ移轉料ヲ支給ス

## ○辭 令

大正十二年一月一日

大正十二年一月六日

海軍大臣 男爵 加藤友三郎

(各通)

大 岡 左 武 郎	北 村 清 吉	西 尾 齋 太 郎	里 見 嘉 賀	尾 崎 修 平	平 川 重 致	兒 櫻 弘 壯	佐 々 木 延 身	古 川 桃 治	岸 上 重 光	田 中 博	渡 邊 登	丹 羽 泰 重
-----------	---------	-----------	---------	---------	---------	---------	-----------	---------	---------	-------	-------	---------

海軍公報 第三千六十八號 大正十二年一月六日

任海軍豫備一等兵曹

(各通)

任海軍豫備一等機關兵曹

野口 一市  
奥田 稔  
松田 清  
石鉢 清藏  
金山 帝一  
伴 良夫  
木村 茂衛  
稻生 酉年雄

○艦船所在

△印△△△△  
△定△△△△  
△七△△

○一月六日午前十時調

【横須賀】 口長門△、口筑摩、滿州、口金剛、口北上△、  
山城、阿蘇、加賀、安藝、薩摩、榛名、鳳翔、若宮、朝日、  
三笠、八雲△、春日、千早、口野風、沼風、波風、驅一、  
口峯風、澤風、沖風、矢風、口太刀風△、帆風△、夕風、  
夕風、口灘風、秋風△、羽風、島風△、口夕立、白霧、  
三日月△、夕暮△、口春風、初春、初雪、口響、如月、  
神風、初霜、吹雪、有明、口藤、菘、蕩、浦風、夕風、  
時雨、口潜九、潜八、口潜一四、潜一五、口潜二八△、  
潜二九△、潜三〇△、口潜四〇、潜三八、潜三九△、  
口潜四七、潜四六、潜四一、潜五八、口雄、鷗、鴻、關東、

武藏、松江、富士、神威、高崎、尻矢△、洲崎

【石川島】 董、驅一〇

【浦賀】 五十鈴

【大湊】 口榕、櫻、楨、桑

吳、口球磨、多摩、伊勢△、日向、鬼怒、口矢矧、  
韓崎、天龍、駒橋、土佐、扶桑△、攝津、伊吹、  
千歲、明石、口綾波、追風、疾風、彌生、口浦波、磯波、  
菊月、長月、水無月、卯月、口谷風、江風、菊、葵、  
口海風、山風、楢、驅四、口潜二六、潜二五、潜二七、  
口潜一〇、潜一一、潜一二、口潜一三△、潜一六△、  
潜一七△、口潜二三、潜一九、潜二〇、口潜三七、  
潜二二、潜二四、口潜三四、潜三五、潜三六、  
潜四四、潜五一、早瀬、大和△、膠州、劍崎、室戶

【大阪】 驅一六

【神戶】 潛五七、潛五九、潛六八、隱戶

【佐世保】 口龍田、陸奥、口名取、長良、霧島△、比叡、  
利根、由良、鞍馬、生駒、肥前△、敷島、常磐、須磨、  
最上、淀△、宇治△、口榑△、柏、杉△、口檜、柏、桃、柳、  
口梨、榎、樅、竹、口柿、榆、栗、梅、口藤、菱、葦、  
口蓼、蓮、蓬、驅二、口白雪、夜、野分、松風、口潜二一、  
潜一八、口潜四三、潜四二、潜三一、潜四五、潜六二、  
口鷲、鷗、雲雀、鶴、知床、襟裳、佐多、鶴見

【長崎】 驅三

【馬公】 木曾、口櫻、橘

【舞鶴】 大井△、鹿島、香取△、平戶△、吾妻△

□時津風、磯風、天津風、濱風、颯五、水七二、水七三、  
水七四、水七五

【鎮海】 □楓、楠、梅、□潛三三、潛三二

【元山】 桂

【旅順】 □若葉、朝風、朝、子日

【南洋群島】 勝力

【浦潮】 日進

【サマルガ】 大泊

【オモキヤロ】 新高

【上海】 ▽安宅、對馬

【九江】 嵯峨

【宜昌】 伏見

【長沙】 阴田

【重慶】 鳥羽

【馬尾】 桐

【厦門】 樺

【航海中】

石廊(十二月二十五日「タラカン」發徳山へ)

野間(十二月三十日「タラカン」發吳へ)

青島(十二月三十一日佐世保發旅須へ)

▷出雲、警手、淺間(三日新嘉坡發香港へ)

野島(三日高雄發佐世保へ)

能登呂(三日吳發「パリツクバン」へ)

○雜 款

○司令驅逐艦變更  
第二十四驅逐隊司令ハ十二月二十六日司令驅逐艦ヲ檢  
ヨリ樫ニ變更セリ

○郵便物發送先  
第二艦隊司令部、金剛宛  
一月十四日迄到著見込ノモノハ 横 須 賀  
同 十九日迄 同 鹿 兒 島 縣 志 布 志  
二月十二日迄 同 山 口 縣 三 田 尻  
其ノ後ハ 吳

第二水雷戰隊司令部、北上、第一驅逐隊(野風、沼風、  
波風)、第三驅逐隊(太刀風、沙風、帆風、夕風)宛  
一月十三日迄到著見込ノモノハ 横 須 賀  
同 十八日迄 同 志 布 志  
其ノ後ハ 吳

○特務艦青島行動豫定變更(十二月十九日  
本欄參照)

地名	著	發
旅順		一月八日
鎮海	一月十一日	十三日
佐世保	十四日	十七日
能登呂	二十日	二十三日

吳 二十六日 二十九日  
横須賀 二月一日

○特務艦野島行動豫定申變見(十二月二十五日)

地名 著 發  
高 雄 一月八日 一月三日  
佐世保 十一月十一日 十日  
西戸崎

○事務所設置

軍艦保津艦裝員事務所ヲ支那漢口揚子機器製造有限公司内ニ設置シ十二月十九日ヨリ事務ヲ開始セリ

追テ郵便物發送先ハ漢口三菱商事株式會社支店氣付電報略符 Noguchi, Iwasakitsai, Hankow (保津艦裝員長)

軍艦比良艦裝員事務所ヲ支那漢口揚子機器製造有限公司内ニ設置シ十二月二十一日ヨリ事務ヲ開始セリ

追テ郵便物發送先ハ漢口三菱商事株式會社支店氣付電報略符 Yuhokawa, Iwasakitsai, Hankow (比良艦裝員長)

○事務所撤去

長崎三菱造船所内ニ設置中ノ本艦艦裝員事務所ハ十二月二十八日撤去セリ(第一驅逐艦)

○電話架設

青山 九七六  
海軍軍令部副官  
海軍大佐 大湊直太郎  
豊多摩郡澁谷町中澁谷六八二

海軍少尉正八位小幡鎌治ハ去月三十日福井縣足羽郡麻生津村中野二一番地自宅ニ於テ死去セリ

退役海軍主計大佐從四位勳三等五藤兵司ハ一月二日新舞鶴町初瀬通二條西入自宅ニ於テ卒去セリ

海軍少佐從六位勳四等功五級門屋正信ハ一月三日鎌倉材木座一四自宅ニ於テ死去セリ

(部内限ナシ)

# 海軍公報

第三千六十九號

大正十二年一月八日(月)  
海軍大臣官房

## ○辭令

海軍技手 小林甲午女

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス  
(新海軍省)

## ○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ  
指定ヲ要セズ

○一月八日午前十時調

【横須賀】 △長門△、▽統摩、滿州、△金剛、△北上△、  
山城、阿蘇、加賀、安藝、薩摩、榛名、風翔、若宮、朝日、  
三笠、八雲△、春日、千早、△野風、沼風、波風、驅一、  
△峯風、澤風、沖風、矢風、△太刀風△、帆風△、夕風、  
沙風、△灘風、秋風△、羽風、島風△、△夕立、白露、  
三日月△、夕暮△、△春風、初春、初雪、△響、如月、  
神風、初霜、吹雪、有明、△藤、萩、蕨、萬、浦風、夕風、  
時雨、△潛九、潛八、△潛一四、潛一五、△潛二八△、  
△潛二九△、△潛三〇△、△潛四〇、△潛三八、△潛三九、  
△潛四七、△潛四六、△潛四一、△潛五八、△雄、鷗、鴻、關東、

海軍公報 第三千六十九號 大正十二年一月八日

五

武藏、松江、富士、神威、高崎、尻矢△、洲崎  
石川島 五十鈴  
浦賀 △樺、櫻、楓、桑  
大湊 △球磨、多摩、伊勢△、日向、鬼怒、△矢矧、  
吳 △龍、駒橋、土佐、扶桑△、攝津、伊吹、  
韓崎、天龍、駒橋、土佐、扶桑△、攝津、伊吹、  
千歲、明石、△綾波、追風、疾風、彌生、△浦波、磯波、  
菊月、長月、水無月、卯月、△谷風、江風、菊、葵、  
△海風、山風、檜、櫻四、△潛二六、潛二五、潛二七、  
△潛一〇、潛一一、潛一二、△潛一三△、△潛一六△、  
△潛一七△、△潛二二、△潛一九、潛二〇、△潛三七、  
△潛二二、△潛二四、△潛三四、△潛三五、△潛三六、  
△潛四四、△潛五一、早鞆、大和△、膠州、劍埼  
△大 關一六  
△神 戶 △石廊  
△德 山 △龍田、陸奥、△名取、長良、霧島△、比叡、  
△佐世保 △龍田、陸奥、△名取、長良、霧島△、比叡、  
利根、由良、鞍馬、生駒、肥前△、敷島、常磐、須磨、  
最上、淀△、宇治△、△榊△、柏、松、杉、△樫、檜、桃、柳、  
△梨、榎、樅、竹、△柿、楡、栗、梅、△榭、菱、葦、  
△蓼、蓮、蓬、鷹二、△白雪、霞、野分、松風、△潛二一、

【長崎】 潜一八、口潜四三、潜四二、潜三一、潜四五、潜六二、  
口鷲、鴉、雲雀、鶴、知床、襟裳、佐多、鶴見、野島

【馬公】 木曾、櫻、橘

【舞鶴】 大井、鹿島、香取、平戸、吾妻、  
口時津風、磯風、天津風、濱風、颯五、水七二、水七三、  
水七四、水七五

【鎮海】 楠、口潜三三、潜三一

【元山】 梅  
口若葉、朝風、潮、子日、青島

【旅順】 勝利

【南洋群島】 日進  
新高  
口安宅、對馬

【上海】 鏢威

【九江】 伏見

【宜昌】 伏見

【長沙】 伏見

【重慶】 伏見

【馬尾】 伏見

【廈門】 伏見

【航海中】  
野間(十二月三十日「タラク」發吳)  
出雲、磐手、淺間(三日新嘉坡發香港)

能登員(三日吳發「パリックババン」)  
室戸(六日吳發横須賀)

口楓(七日鎮海發麗水)  
桂(七日元山發鎮海)  
大泊(七日「サマルガ」發小樽)

○雜款

○司令驅逐艦變更

第二十一驅逐隊司令、去月三十日司令驅逐艦ヲ櫻ヨリ  
樺ニ變更セリ

○郵便物發送先

聯合艦隊司令部、第一艦隊司令部、長門、第一潜水  
戰隊司令部、筑摩、滿州、第四潜水隊(二八、二九、  
三〇潜水艦)、第六潜水隊(四六、四七潜水艦)宛

一月十四日迄到著見込ノモノハ 横 須 賀  
一月二十二日迄 同 鹿兒島縣志布志

二月六日迄 同 長 崎  
其ノ後ハ 佐 世 保

第十四潜水隊(二三、一九、二〇潜水艦)宛

一月十一日迄到著見込ノモノハ 軍 艦 韓 蔚  
二月五日迄 同 第二十三潜水艦  
其ノ後ハ 軍 艦 韓 蔚

特務艦室戸宛

一月十二日迄到着見込ノモノハ横須賀  
其ノ後ハ 吳

○特務艦大泊行動豫定中變更(十二月十二日  
本欄参照)

地名 著 發

小 樽 一月十三日

浦 鹽 一月十五日 十八日

以下豫定ノ通り

○滞在地變更

海軍少佐高田真ハ横須賀ヨリ舞鶴へ滞在地變更ノ儀一  
月六日認許セラレタリ

○「ペスト」發生報(内務省  
衛生局)

昨年十二月二十三日高知市菜園場町注意区域内ニ有  
菌鼠一頭發見  
同年同月二十四日同市浦戸町ニ鼠症一名發生  
同年同月二十五日大阪市南區高津警察署部内收得鼠  
一頭有菌鼠ト決定  
昨年十二月二十八日高知市唐人町附近鏡川内 鼯鼠一  
頭、下知町高知市界鼯鼠一頭各有菌鼠ト決定

# 海軍公報

第三千七十號

大正十二年一月九日(火)  
海軍大臣官房

## ○通牒

官房第三五號

大正十二年一月九日

海軍省副官 藤田尚徳

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀)殿

汽船「トロール」漁業許可等ノ件

本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局ヨリ通知アリタリ  
右通牒ス

漁獲物陸揚港	下關、博多、長崎	
許可期間	許可ノ日ヨリ拾箇年	
制限又ハ條件	一、朝鮮總督府及臺灣總督府令ノ定ムル「トロール」漁業ノ禁止區域ハ之ヲ遵守スヘシ 一、「トロール」漁業監視ノ乘組ヲ命シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス	
許可年月日	大正十一年十二月二十六日	
(名義變更ノ分) 東京市日本橋區本町四丁目九番地日本トロール株式會社ハ同市麴町區有樂町一丁目一番地明治漁業株式會社ヨリ左記「トロール」汽船ヲ讓受ケタルニ付其ノ許可名義ヲ同社ニ變更セリ		
許可番號	船名	許可年月日
第九〇號	神戶市播磨町十七番地	大正十一年二月二十二日
氏名又ハ名稱	共同漁業株式會社	大正十一年三月二十四日
船名	鳴尾丸	
操業區域	東海及黃海	

海軍公報 第三千七十號

大正十二年一月九日



経路第一號

大正十二年一月九日

海軍省經理局長 志 佐 勝

大正十一年度歳出臨時部細節目左ノ通追加ス

款	項	目	節	細節	會計科目 電信略號	略文 電信略號
(軍備補 充費)	(軍艦製 造費)	(造船費)				
		(造兵費)				
				特務艦 城	一ノリ	Kaichi- nori
				特務艦 城	一ノヌ	Kaichi- nunu
				特務艦 城	五ノカ	Kagono- ka
				特務艦 城	五ノロ	Kagono- ro

右通知ス

○ 諭 令

海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手ヲ免シ吳海軍工廠  
附ヲ命ス  
海軍技手 吉田 憲太郎

米國へ出張ヲ命ス 海軍技手 小林 勝

海軍艦政本部附海軍技手 關根隆一郎

兼造兵監督助手ヲ免シ兼海軍航空機試驗所附ヲ命ス

海軍艦政本部附兼海軍航空機試驗所附

海軍技手 辻 一郎

兼霞ヶ浦海軍航空隊附ヲ命ス

海軍造兵大尉 山田 幸五郎

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス(以上皆海軍省)

○ 艦 船 所 在

△印ハ「ハ」ホ」ノ  
指定ヲ要セズ

○一月九日午前十時調

【横須賀】 口長門△、口筑摩、浦州、口金剛、口北上△、  
山城、阿蘇、加賀、安藝、薩摩、榛名、鳳翔、若宮、朝日、  
三笠、八雲△、春日、千早、口野風、沼風、波風、驅△、  
口峯風、澤風、沖風、矢風、口太刀風△、帆風△、夕風、  
沙風、口灘風、秋風△、羽風、島風△、口夕立、白露、  
三日月△、夕暮△、口春風、初春、初雪、口響、如月、  
神風、初霜、吹雪、有明、口藤、萩、蕨、浦風、夕風、  
時雨、口潜九、潜八、口潜一四、潜一五、口潜二八△、  
潜二九△、潜三〇△、口潜四〇、潜三八、潜三九、  
口潜四七、潜四六、潜四一、潜五八、口雉、鷗、鴻、關東、  
武藏、松江、富士、神威、高崎、尻矢△、洲崎

【石川島】 董、驅一〇  
 【浦賀】 五十鈴  
 【大湊】 樺、梅、槓、桑  
 【小樽】 大泊  
 【吳】 球磨、多摩、伊勢、日向、鬼怒、矢矧、  
 韓崎、天龍、駒橋、土佐、扶桑、攝津、伊吹、  
 千歲、明石、綾波、追風、疾風、彌生、浦波、磯波、  
 菊月、長月、水無月、卯月、谷風、江風、菊、葵、  
 海風、山風、檜、櫻、驅四、潛二六、潛二五、潛二七、  
 潛一〇、潛一一、潛一二、潛一三、潛一六、  
 潛一七、潛二二、潛二九、潛三〇、潛三七、  
 潛二二、潛二四、潛三四、潛三五、潛三六、  
 潛四四、潛五一、早朝、大和、膠州、劍埼  
 【大坂】 驅一六  
 【神戶】 潛五七、潛五九、潛六八、隱戶  
 【德島】 石廊  
 【佐世保】 龍田、陸奥、名取、長良、霧島、比叡、  
 利根、由良、鞍馬、生駒、肥前、敷島、常磐、須磨、  
 最上、淀、宇治、神、柏、杉、櫻、檜、桃、柳、  
 梨、榎、樅、竹、柿、楡、栗、梅、蕨、菱、葦、  
 蓮、蓬、驅二、白雪、霞、野分、松風、潛二一、  
 潛一八、潛四三、潛四二、潛三一、潛四五、潛六一、  
 鷲、鶴、雲雀、知床、樺裳、佐多、鶴見、野鳥  
 【長崎】 驅三  
 【馬公】 木曾、櫻、橘

海軍公報 第三千七百號

大正十二年一月九日

【舞鶴】 大井、鹿島、香取、平戸、吾妻、  
 時津風、磯風、天津風、濱風、驅五、水七二、水七三、  
 水七四、水七五  
 楠、桂、潛三三、潛三二  
 【元山】 梅  
 【木浦】 楓  
 【旅順】 若葉、朝風、潮、子日、青島  
 【南洋群島】 勝利  
 【浦潮】 日進  
 【上海】 新高  
 【九江】 安宅、對馬  
 【宜昌】 嵯峨  
 【長沙】 伏見  
 【重慶】 岡田  
 【馬尾】 鳥羽  
 【厦門】 桐  
 【航海中】 樺

野間(十二月三十日「タラカン」發吳へ)  
 出雲、磐手、淺間(三日新嘉坡發香港へ)  
 能登呂(三日吳發「バリックパン」へ)  
 室戸(六日吳發橫須賀へ)

1279

○ 雜 款

元帥海軍大將正二位勳一等功二級男爵島村速雄本  
月八日薨去、葬儀ハ途中葬列ヲ廢シ來十一日午後  
二時青山齋場ニ於テ海軍葬喪令ニ依リ神式ヲ以テ  
執行

○ 正 誤

本月六日令達官房第一〇號第四項中薩摩ノ下「及沼風」  
ハ「沼風及波風」ノ誤

昨八日七頁滯在地變更欄中高田貞ハ高田眞ノ誤

(部内限ナシ)

# 海軍公報

第三千七十一號

海軍大臣官房

大正十二年一月十日(水)

## ○ 通牒

經給第一號

航空加俸支給規則第四條ニ依リ支給スヘキ日額ハ實際航空ノ事實ニ依リ同則第二表所定ノ日額甲額ニ該當スヘキ航空ヲ爲シタル者ニハ海軍大臣ノ認許ヲ經タルモノニ限リ日額甲額、其ノ他ノ航空ヲ爲シタル者ニ對シテハ日額乙額ヲ支給セラルル儀ニ有之候  
右爲念通牒ス

大正十二年一月十日

海軍省經理局長 志 佐 勝

## ○ 辭令

海軍主計中佐 柳 沼 廣 三  
海軍生徒採用試験常置委員ヲ免ス  
海軍主計少佐 高 木 正 三  
海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス(以上初海軍省)

海軍公報 第三千七十一號 大正十二年一月十日

海軍省經理局局長 柳 沼 廣 三  
海軍主計中佐 柳 沼 廣 三  
艦隊所屬艦船經費主任出納官吏ヲ免ス

海軍省經理局局長 高 木 正 三  
海軍主計少佐 高 木 正 三  
艦隊所屬艦船經費主任出納官吏ヲ命ス(以上初海軍省經理局支出官)

## ○ 艦船所在

△印ハハホ  
指定ヲ要セス

○一月十日午前十時調

【横須賀】 口長門△、口筑摩、口滿州、口金剛、口北上△、  
山城、阿蘇、鳳翔、加賀、安藝、薩摩、榛名、若宮、朝日、  
三笠、八雲△、春日、千早、口野風、沼風、波風、朝一、  
口峯風、澤風、沖風、矢風、口太刀風△、帆風△、夕風、  
沙風、口灘風、秋風△、羽風、島風△、口夕立、白露、  
三日月△、夕暮△、口春風、初春、初雪、口櫻、如月、  
神風、初霜、吹雪、有明、口藤、秋葉、菫、浦風、夕風、  
時雨、口潜九、潜八、口潜一四、潜一五、口潜二八△、  
潜二九△、潜三〇△、口潜四〇、潜三八、潜三九、



能登員三日吳發「パリックパン」へ  
青島(九日旅順發鏡海へ)

○雜款

○郵便物發送先

軍艦霧島宛

一月十四日迄到著見込ノモノハ 佐世保  
同十八日迄同 鹿兒島縣志布志  
二月七日迄同 徳山  
同十二日迄同 山口縣三田尻  
其ノ後ハ 吳

軍艦比叡宛

一月十四日迄到著見込ノモノハ 佐世保  
同十九日迄同 鹿兒島縣志布志  
二月十二日迄同 山口縣三田尻  
其ノ後ハ 吳

驅逐艦桂宛

自今

鎮海

驅逐艦梅宛

自今

元山

特務艦富士宛

一月十七日迄到著見込ノモノハ 横須賀  
同二十二日迄同 吳  
同二十七日迄同 三津濱  
其ノ後ハ 横須賀

# 海軍公報

第三千七十二號

大正十二年一月十一日(木)  
海軍大臣官房

## ○ 辭令

收入官吏ヲ免ス 海軍主計中佐 柳沼 廣三  
 海軍主計少佐 高木 正三  
 收入官吏ヲ命ス(以上ハ海軍省經理局歳入徴收官)

## ○ 艦船所在

指定ヲ要セズ

○ 一月十一日午前十時訓

【横須賀】 口長門、口筑摩、滿州、口金剛、口北上、  
 阿蘇、鳳翔、加賀、安藝、薩摩、榛名、若宮、朝日、  
 三笠、八雲、春日、千早、口野風、沼風、波風、朝一、  
 口峯風、澤風、沖風、矢風、口太刀風、帆風、夕風、  
 沙風、口灘風、秋風、羽風、島風、口夕立、白露、  
 三日月、夕暮、口春風、初春、初雪、口響、如月、  
 神風、初霜、吹雪、有明、口藤、萩、葛、浦風、夕風、  
 時雨、口潛九、潛八、口潛一四、潛一五、口潛二八、  
 潛二九、口潛三〇、口潛四〇、潛三八、潛三九、  
 口潛四七、潛四六、潛四一、潛五八、口雄鷗、關東、  
 武藏、松江、富士、神威、高崎、尻矢、洲崎、室戶

【石川島】 董、驅一〇

品川沖

山城

浦賀

五十鈴

大湊

口椿、櫻、楨、桑

小樽

大泊

吳

口球磨、多摩、伊勢、日向、鬼怒、口矢矧、  
 韓崎、天龍、駒橋、土佐、扶桑、攝津、伊吹、  
 千歲、明石、口綾波、追風、疾風、彌生、口浦波、磯波、  
 菊月、長月、水無月、卯月、口谷風、江風、菊、葵、  
 口海風、山風、稻、櫻、驅四、口潛二六、潛二五、潛二七、  
 口潛一〇、潛一一、潛一二、口潛一三、口潛一六、  
 口潛一七、口潛二二、口潛一九、潛二〇、口潛三七、  
 潛二二、口潛二四、口潛三四、口潛三五、口潛三六、  
 口潛四四、潛五一、早瀬、大和、膠州、劍埼

神

驅一六

阪

驅一六

神

口龍田、陸奥、口名取、長良、霧島、比叡、  
 佐世保、口龍田、鞍馬、生駒、肥前、敷島、常磐、須磨、  
 利根、由良、鞍馬、生駒、肥前、敷島、常磐、須磨、  
 最上、淀、宇治、口柳、柏、松、杉、口檜、檜、桃、  
 口梨、榎、樅、竹、口柿、榆、栗、梅、口榭、菱、葦、  
 口蓼、蓮、蓬、驅二、口白雪、霞、野分、松風、桂、  
 口潛二一、潛一八、口潛四三、潛四二、潛三一、潛四五、

海軍公報 第三千七十二號 大正十二年一月十一日

一七

【西戸崎】 野島

【長崎】 驅三

【馬公】 木曾、櫻、橘

【舞鶴】 大井、鹿島、香取、平戸、吾妻、

【時津風、磯風、天津風、濱風、驅五、水七二、水七三、水七四、水七五

【鎮海】 楠、【潜三三、潜三一】

【元山】 梅

【旅順】 若葉、朝風、潮、子日

【南洋群島】 勝利

【浦潮】 日進

【上野】 新高

【九江】 安宅、對馬

【宜昌】 磯城

【長沙】 伏見

【重慶】 岡田

【馬尾】 鳥羽

【厦門】 桐

【香港】 出雲、警手、淺間

【航海中】

野間(十二月三十日「タラクカン」發吳へ)  
龍登呂(三日吳發「バリックバン」へ)  
青島(九日旅順發鎮海へ)

【楓】(十日木浦發黒山島へ)  
【柳】(十日神ノ浦發)  
【石廊】(十日徳山發吳へ)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

第三戰隊司令部、球磨、多摩宛

一月十三日迄到著見込ノモノハ 吳

同 二十二日迄 同 鹿兒島縣志布志

大井宛 一月二十日迄到著見込ノモノハ 舞 鶴

同 二十二日迄 同 志 布 志

○ 滞在地變更

海軍中佐稻野喜平治ハ横須賀ヨリ東京へ、海軍少尉兼

藤重雄ハ佐世保ヨリ吳へ、海軍機關大尉城戸正彦ハ横

須賀ヨリ佐世保へ滞在地變更ノ儀孰レモ本月九日認許

セラレタリ

海軍大佐蘆谷幸治ハ横須賀ヨリ東京へ、海軍大尉渡邊

武ハ横須賀ヨリ吳へ滞在地變更ノ儀本月十日認許セラ

レタリ

○ 「ペスト」發生報(一月九日)

一月四日大阪市南區高津署部内一頭、同月六日同區生

玉町二頭有菌鼠ト決定

(部内限一頁)

(終)



# 海軍公報

第三千七百三十三號

大正十二年一月十二日  
海軍大臣官房

## ○令達

官房第八四號

大正十一年度ニ於テ採用スヘキ海軍砲術學校練習生ノ員數中左ノ通追加ス

大正十二年一月十二日

同

海軍大臣男爵 加藤友三郎

横須賀鎮守府

高等科砲術練習生 五十名

吳鎮守府

同 同 五十名

佐世保鎮守府

同 同 五十名

合計

同 同 一百五十名

## ○通牒

教本第二三三號

大正十二年一月十二日

海軍教育本部長 野間口兼雄

鎮守府司令長官殿

練習生採用ニ伴  
左記ニ依リ海軍砲術學校練習生ヲ採用ス

種別 第五十期 高等科

員數 横須賀 二〇

吳 二〇

佐世保 二〇

合計 六〇

特技掌附與後之日ハ  
數計算期日 大正十二年一月二十日

候補者選出期日 大正十二年二月十五日

砲術學校ニ所見  
到達期日 大正十二年三月一日

所見表身體欄ニ  
長ノ記入ヲ要ス

入線豫定期日 大正十二年三月五日

右通知ス

海軍公報 第三千七百三十三號 大正十二年一月十二日

一九

○ 辭令

大阪地方裁判所所屬辯護士  
 花井 壽造  
 山中 治三郎  
 植村 善三  
 秦野 楠雄  
 山内 公明  
 小村 義卯  
 大山 菊治  
 近藤 平松  
 山崎 澄洞  
 佐々木 亮次  
 西村 兼吉  
 高木 悅郎  
 石川 淺  
 福田 又一  
 福島 清  
 景山 收

○ 艦船所在

▲印ハハホフ  
指定ヲ要セズ

海軍軍法會議法第八十八條ニ依リ指定ス(海軍大臣)

○二月十二日午前十時開  
 【横須賀】、口長門、口筑摩、浦州、口金剛、口北上

山城、阿蘇、風翔、加賀、安藝、薩摩、榛名、若宮、朝日、  
 三笠、八雲、春日、千早、口野風、沼風、波風、驅一、  
 口峯風、澤風、沖風、矢風、口太刀風、帆風、夕風、  
 口峯風、澤風、秋風、羽風、島風、口夕立、白鷺、  
 三日月、夕暮、口春風、初春、初雪、口響、如月、  
 神風、初霜、吹雪、有明、口藤、萩、葛、浦風、夕風、  
 時雨、口潜九、潜八、口潜一四、潜一五、口潜二八、  
 潜二九、潜三〇、口潜四〇、潜三八、潜三九、  
 口潜四七、潜四六、潜四一、潜五八、口雉、鷗、鴻、關東、  
 武藏、松江、富士、神威、高崎、尻矢、洲崎、室戸  
 【石川島】 重、驅一〇  
 【浦賀】 五十鈴  
 【大湊】 口椿、柳、楨、桑  
 【小樽】 大泊  
 【奥】 口球磨、多摩、伊勢、日向、鬼怒、口矢矧、  
 韓崎、天龍、駒橋、土佐、扶桑、攝津、伊吹、  
 千歲、明石、口綾波、追風、疾風、彌生、口浦波、磯波、  
 菊月、長月、水無月、卯月、口谷風、江風、菊、葵、  
 口海風、山風、楢、榎、驅四、口潜二六、潜二五、潜二七、  
 口潜一〇、潜一一、潜一二、口潜一三、潜一六、  
 潜一七、口潜二三、潜一九、潜二〇、口潜三七、  
 潜二二、潜二四、口潜三四、潜三五、潜三六、  
 潜四四、潜五一、早朝、大和、膠州、劍埼、石廊  
 【大坂】 驅一六  
 【神戶】 潜五七、潜五九、潜六八、隱月

【佐世保】ト龍田、陸奥、ト名取、長良、霧島、比叡、  
 利根、由良、鞍馬、生駒、肥前、敷島、常磐、須磨、  
 最上、淀、宇治、口禰、柏、杉、口樫、檜、  
 桃、口梨、桐、樅、竹、口柿、楡、栗、榎、口榎、菱、  
 華、口蓼、蓮、蓬、口白雲、散野分、松風、  
 口潜二一、潜一八、口潜四三、潜四二、潜三一、潜四五、  
 潜六二、口鷲、鶉、雲雀、鵜、知床、襟裳、佐多、鶴見  
 【西戸崎】野島  
 【長崎】野島  
 【馬公】木曾、櫻、橘  
 【舞鶴】大井、鹿島、香取、平戸、吾妻、  
 口時津風、磯風、天津風、濱風、颯風、水七二、水七三、  
 水七四、水七五  
 【鎮海】楠、桂、口潜三三、潜三二  
 【元山】梅  
 【長山島】柳  
 【木浦】口根  
 【旅順】口若葉、朝風、潮、子日  
 【南洋群島】勝利  
 【浦潮】日進  
 【上海】新高  
 【九江】口安宅、對馬  
 【宜昌】嵯峨  
 【長沙】伏見  
 岡田

海軍公報 第三千七百三號

大正十二年二月十二日

【重慶】鳥羽  
 【馬尾】桐  
 【厦門】口樅  
 【香港】ト出雲、斃手、淺間  
 【航海中】  
 野間(十二月三十日「タラカン」發吳へ)  
 能登呂(三日吳發「バリツクババン」へ)  
 青島(九日旅順發鎮海へ)  
 ○雜款  
 ○郵便物發送先  
 軍艦日向宛  
 一月十四日迄到著見込ノモノハ 吳  
 同 二十二日迄 同 鹿兒島縣志布志  
 ○運用術練習特務艦富士行動豫定  
 地名 著 發  
 横須賀 一月十八日  
 吳 一月二十一日  
 宮島 二十三日  
 六連 二十五日  
 二十五日

一一一



# 海軍公報 附録

大正十二年一月十二日(金)  
海軍大臣官房

## ○ 雜 款

### ○ 圖書

去ル十二月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍省文庫)

#### 第一門 海陸軍事

菲律賓諸嶋水路誌 上巻 水路部編 大正一一 雜八七五

#### 第二門 經濟 社會

會計學綱要 大田哲三著 大正一一(四一〇頁) 三三三三

社會學序説 新明正道著 大正一一(三二五頁) 三六九

#### 第三門 歴史

日本文化史 第十二巻 明治時代 時野常三郎著 大正一一(三九一頁) 三五四

#### 第四門 地誌

支那經濟地理誌 交通全編 馬場鐵太郎著 大正一一(一四〇六頁) 三六七

#### 第八門 産業

支那産業の現況 臺灣總督官房調査課編 大正一一(南支那及南洋調查第六十二輯) 雜八六六

社會會計實務 中西新長術著 大正一一(三六七頁) 三九六

日本の海運 伊東米治郎著 大正一一(三三三頁) 三三三

## 洋書ノ部

### I. NAVAL & MILITARY.

Camn, Sydney. Aeroplane construction. London 1919. 5443

Klein, A. Lieut. A text-book of aeronautical engineering. London n. d. 5444

Botch, A. L. Sounding the ocean of air. London 1900. 5445

Widmer, E. J. Military observation balloons. (Captive and free). N. Y. 1918. 5442

### II. POLITICS & SOCIOLOGY.

Kennedy, A. L. Old diplomacy and new, 1876-1922. From Salisbury to Lloyd George. London 1922. 5456

Pollard, H. B. G. The secret societies of Ireland. Their rise and progress. London 1922. 5457

Rosen, Baron. Forty years of diplomacy. London 1922. 2 vol. 5458

Webb, Sidney & Beatrice Webb. English local government: statutory authorities for special

purposes. London 1922.	5453
III. HISTORY.	
Hodges, H. W. & E. A. Hughes. (ed.) Select naval documents. Cambridge 1922.	5454
Wilhelm II. Kaiser. Ereignisse und Gestalten aus den Jahren 1878-1918. Leipzig 1922. 1280	
VI. MEDICINE.	
Oruchet, R. & B. Moulmier. Air sickness, its nature and treatment. Translated from the French by J. R. Eary. London 1920. 5447	
Manblanc & Batié. The medical examination of airmen. Translated from the French by N. Ball. London 1920.	5446
VIII. INDUSTRY.	
Ellis, Carleton. The hydrogenation of oils. N. Y. 1919.	5450
Greenwood, H. G. Industrial gases. London 1920.	5449
Schwartz, Von. Fire and explosion risks. Translated from the revised German edition by C. T. C. Salter. London 1918.	5451
Taylor, H. S. Industrial hydrogen. N. Y. 1921.	5448
Jones, Clement. British merchant shipping. London 1922.	5455

# 海軍公報

第三千七百四號

大正十二年一月十三日(土)  
海軍大臣官房

## ○辭令

(各通) 海軍技手 野田 慶治郎  
依願免本官(可海軍省) 鈴木 虎吉

## ○艦船所在

△印ハハホフ  
指定ヲ要セス

○一月十三日午前十時調

【横須賀】 口長門△、口筑摩、滿州、口金剛、口北上△、  
山城、阿蘇、鳳翔、加賀、安藝、薩摩、榛名、若宮、朝日、  
三笠、八雲△、春日、千早、口野風、沼風、波風、驅一、  
口峯風、澤風、沖風、矢風、口大刀風△、帆風△、夕風、  
沙風、口灘風、秋風△、羽風、島風△、口夕立、白露、  
三日月△、夕暮△、口春風、初春、初雪、口響、如月、  
神風、初霜、吹雪、有明、口藤、萩、薄、葛、浦風、夕風、  
時雨、口潛九、潛八、口潛一四、潛一五、口潛二八△、  
潛二九△、潛三〇△、口潛四〇、潛三八、潛三九、  
口潛四七、潛四六、潛四一、潛五八、口雄、鷗、鴻、關東、  
武藏、松江、富士、神威、高崎、尻矢△、洲埼

石川島

董、驅一〇

浦賀

五十鈴  
口椿、樺、楨、桑

大湊

大泊

小樽

口球磨、多摩、伊勢△、日向、口矢矧、韓崎、  
吳、口駒橋、土佐、扶桑△、攝津、伊吹、千歲、  
天龍、口綾波、追風、疾風、彌生、口卯月、浦波、  
明石、口綾波、追風、疾風、彌生、口卯月、浦波、  
磯波、口菊月、長月、水無月、口谷風、江風、菊、葵、  
口海風、山風、檜、櫻、口潛二六、潛二五、潛二七、  
口潛一〇、潛一一、潛一二、口潛一三△、潛一六△、  
口潛一七△、口潛二三、潛一九、潛二〇、口潛三七、  
潛二二、潛二四、口潛三四、潛三五、潛三六、  
口潛四四、潛五一、早稲、大和△、膠州、石廊

大阪

驅一六

神戶

口潛五七、潛五九、潛六八、隱戶

三津濱

鬼怒

德山

劍埼

佐世保

口龍田、陸奥、口名取、長良、霧島△、比叡、  
利根、由良、鞍馬、生駒、肥前△、敷島、常磐、須磨、  
最上、淀△、宇治△、口榊△、柏、杉△、口櫻、檜、  
桃、口梨、榎、樅、竹、口柿、榆、栗、梅、口巖、菱、

海軍公報 第三千七百四號 大正十二年一月十三日

一三三

葦、口蓼、蓮、驅二、口白雪、蔽、野分、松風、  
 口潜二、潜一八、口潜四三、潜四二、潜三一、潜四五、  
 潜六二、口鷲、鶉、雲雀、鶴、知床、襟裳、佐多、鶴見  
 【西戸崎】 野島  
 【長崎】 驅三  
 【馬公】 木曾、櫻、橘  
 【雜】 大井、鹿島、香取、平戸、吾妻、  
 口時津風、磯風、天津風、濱風、驅五、水七二、水七三、  
 水七四、水七五  
 補、桂、口潜三三、潜三二、青島  
 【鎮海】 梅  
 【元山】 口楓  
 【麗水】 柳  
 【咸平灣】 口若葉、朝風、潮、子日  
 【旅順】 勝利  
 【南洋群島】 日進  
 【浦潮】 新高  
 【上海】 對馬  
 【九江】 嵯峨  
 【宜昌】 伏見  
 【長沙】 岡田  
 【重慶】 鳥羽  
 【馬尾】 桐  
 【廈門】 口樺  
 【香港】 口出雲、磐手、淺間

【航海中】

野間(十二月三十日「タラカン」發吳へ)  
 能登呂(三日吳發「バリツクバン」へ)  
 安宅(十二日上海發漢口へ)  
 室戸(十三日横須賀發吳へ)

○雜款

○司令驅逐艦變更  
 第十二驅逐隊司令ハ本月十一日司令驅逐艦ヲ浦波ヨリ  
 卯月ニ變更セリ

○郵便物發送先

軍艦陸奥宛  
 一月十五日迄到著見込ノモノハ 佐世 保  
 同 二十一日迄 同 鹿兒島縣志布志  
 其ノ後ハ 佐世 保  
 第五戰隊司令部、名取、長良宛  
 一月十八日迄到著見込ノモノハ 鹿兒島縣志布志  
 其ノ後ハ 山口縣三田尻  
 第一水雷戰隊司令部、龍田、第二十五驅逐隊(梨、竹  
 櫃、樅)、第二十六驅逐隊(柿、榆、栗、梅)、第二十七





# 海軍公報

第三千七十五號

大正十二年一月十五日(月)

海軍大臣官房

## ○辭令

海軍少佐 澤本 頼雄  
購買名簿調査委員會委員ヲ命ス

(各通) 海軍法務官 杉山 義太郎  
同 荻原 竹治郎

海軍兵學校ニ於ケル法務ニ關スル教授ヲ囑託ス(以上計海軍省)

依願免本官(計海軍省)海軍技手 淵 武太郎

臨時通常物品會計官吏ヲ免ス 海軍主計中佐 柳沼 廣三

臨時通常物品會計官吏ヲ命ス(以上計海軍省)經理局  
物品出納命令官) 海軍主計少佐 高木 正三

## ○艦船所在

▲印ハハホホ  
指定ヲ要セス

○一月十五日前十時朝

【横須賀】 口長門▲、口筑摩、浦州、口金剛、山城、

海軍公報 第三千七十五號 大正十二年一月十五日

【大阪】 關一六

阿蘇、風翔、加賀、安藝、薩摩、榛名、若宮、朝日、  
三笠、八雲▲、春日、千早、驅一、口峯風、澤風、沖風、  
矢風、口灘風、秋風▲、羽風、島風▲、口夕立、白露、  
三日月▲、夕暮▲、口春風、初春、初雪、口響、如月、  
神風、初霜、吹雪、有明、口藤、萩、蕙、浦風、夕風、  
時雨、口潛九、潛八、口潛一四、潛一五、口潛二八▲、  
潛二九▲、潛三〇▲、口潛四〇、潛三八、潛三九、  
口潛四七、潛四六、潛四一、潛五八、口雄、鷗、鴻、關東、  
武藏、松江、富士、神威、高崎、尻矢▲、洲崎

【石川島】 董、驅一〇

【浦賀】 五十鈴

【大湊】 口榊、榊、榊、桑

【吳】 伊勢▲、日向、天龍、駒橋、土佐、扶桑、  
攝津、伊吹、千歲、明石、口綾波、追風、疾風、彌生、  
口卯月、浦波、磯波、菊月、長月、水無月、口谷風、  
江風、菊、葵、口海風、山風、檜、驅四、口潛二六、  
潛二五、潛二七、口潛一〇、潛一一、潛一二、  
口潛一三▲、潛一六▲、潛一七▲、口潛二三、潛一九、  
潛二〇、口潛三七、潛三三、潛二四、潛四四、潛五一、  
早朝、大和▲、膠州、石廊、野間

【神戶】 潜五七、潜五九、潜六八、隱戸  
 【宮島】 ▶球磨、多摩  
 【安下庄】 ▶矢矧、韓崎、▶潜三四、潜三五、潜三六  
 【徳山】 劍崎  
 【佐世保】 ▶龍田、陸奥、▶名取、長良、霧島、比叡、  
 利根、由良、鞍馬、生駒、肥前、敷島、常磐、須磨、  
 最上、淀、宇治、▶鶴、柏、松、杉、▶樫、柏、  
 桃、柳、▶梨、榊、樅、竹、▶栂、榆、栗、榎、▶蕨、  
 菱、葎、▶蓼、蓮、驅、▶白雪、霞、野分、  
 松風、▶潜二一、潜一八、▶潜四三、潜四二、潜三一、  
 潜四五、潜六二、▶鷲、鶉、雲雀、鶴、知床、襟裳、佐多、  
 鶴見、青島  
 【西戸崎】 野島  
 【長崎】 驅三  
 【馬公】 ▶樺、櫻、橘  
 【枋寮】 木曾  
 【舞鶴】 大井、鹿島、香取、平戸、吾妻、  
 ▶時津風、磯風、天津風、濱風、驅五、水七二、水七三、  
 水七四、水七五  
 【鎮海】 ▶楓、楠、桂、▶潜三三、潜三二  
 【元山】 梅  
 【旅順】 ▶若葉、朝風、湖、子日  
 【南洋群島】 勝力  
 【浦潮】 日進  
 【新島】 新高

【上海】 對馬  
 【九江】 嵯峨  
 【宜昌】 伏見  
 【長沙】 附田  
 【重慶】 鳥羽  
 【馬尾】 桐

【航海中】

能登呂(三日吳發「バツクバン」)  
 ▶安宅(十二日上海發漢口)  
 室戸(十三日橫須賀發吳)  
 大泊(十三日小樽發浦潮)  
 ▶出雲、磐手、淺間(十四日香港發馬公)  
 ▶北上、▶野風、沼風、波風、▶太刀風、帆風、夕風、汐風  
 (十四日橫須賀發有明灣)  
 鬼怒(十五日三津濱發吳)

○雜款

○郵便物發送先  
 軍艦伊勢宛  
 一月二十二日迄到着見込ノモノハ 鹿兒島縣志布志

其ノ後ハ 佐世保	特務艦野島宛 一月十九日迄到着見込ノモノハ 同 二十二日迄 同 其ノ後ハ 大阪築港郵便局 横須賀	特務艦膠州宛 一月十九日迄到着見込ノモノハ 二月十日迄 同 同 二十四日迄 同 其ノ後ハ 吳 佐木 吳 世 浦 保	○郵便物發送先變更 <small>(本月十日 本欄参照)</small> 軍艦霧島宛 一月十八日迄到着見込ノモノハ 鹿兒島縣志布志 二月十一日迄 同 德 山 同 十七日迄 同 吳	○練習艦隊航路豫定表中變更 <small>(九月十六日 本欄参照)</small> 地名 着 發 香港 一月十五日 一月十四日 馬公 一月十五日 十九日 基隆 二十日 二十三日 上海 二十七日 二十九日
鳥羽 横須賀 二月二日 八日 二月七日 追テ出雲、淺間ハ第一艦隊、第二艦隊各艦及佐世保、吳方面ニ赴任スヘキ候補生ヲ收容ノ上二月十五日横須賀出發ノ豫定	○特務艦野島行動豫定變更 <small>(十二月二十五日 本欄参照)</small> 地名 着 發 西戸崎 一月十六日 一月十五日 吳 阪 二十一日 二十日 大 阪 二十五日 二十三日 横須賀	○電話架設 芝九四三 海軍軍醫學校長 鈴木寛之助 海軍軍醫少將 麻布區新網町一ノ二七		

海軍公報 第三千七百七十五號 大正十二年一月十五日

(部内限一頁) 二九

# 海軍公報

第三千七十六號

大正十二年一月十六日(火)

## 海軍大臣官房

### ○通牒

軍需第一號二八

大正十二年一月十六日

海軍省軍需局長 中里 重次

各工廠長 殿

選拔表所見表ニ關スル件

今般達第二號、達第三號及達第四號ヲ以テ海軍術學校、海軍水雷學校及海軍潜水學校規則中改正相成候處艦營需品中選拔表所見表現在品ハ訂正使用ニシメラル儀ト御承知相成度

右通牒ス  
追テ右以外ノ練習生ニ對スル分モ同一様式ニ改正セラルル筈ニ付同様御取扱相成度申添候

### ○辭令

依願免本官(海軍省) 海軍技手 鹽根 島藏

海軍造船大佐 吉田 安  
候處差免ス(海軍艦政本部)

### ○艦船所在

▲印ハホシヲ指定ヲ要セズ

○一月十六日午前十時調

- 【横須賀】 山城、阿蘇、風翔、加賀、安藝、薩摩、榛名、若宮、朝日、三笠、八雲、春日、千早、驅一、
- 峯風、澤風、沖風、矢風、□灘風、秋風、羽風、
- 島風、□夕立、白露、三日月、夕暮、□春風、
- 初春、初雪、□櫻、如月、神風、初霜、吹雪、有明、
- 藤、萩、薄、葛、浦風、夕風、時雨、□潜九、潜八、
- 潜一四、潜一五、□潜四〇、潜三八、潜三九、潜四一、
- 潜五八、□雄、鷗、鴻、關東、武藏、松江、富士、神威、
- 高橋、洲崎
- 【石川島】 董、驪一〇
- 【浦賀】 五十鈴
- 【大湊】 □椿、樺、楨、桑
- 【吳】 鬼怒、天龍、駒橋、土佐、扶桑、攝津、

海軍公報 第三千七十六號 大正十二年一月十六日

三一

伊吹、千歲、明石、口綾波、追風、疾風、彌生、口卯月、浦波、磯波、菊月、長月、水無月、口谷風、江風、菊、葵、口海風、山風、檜、櫻、鵬四、口潛二六、口潛二五、口潛二七、口潛一〇、口潛一一、口潛一二、口潛一三、口潛一六、口潛一七、口潛三三、口潛一九、口潛二〇、口潛三七、口潛二二、口潛二四、口潛四四、口潛五一、早鞆、大和、膠州、石廊、野間、劍埼

【大 阪】 駟一六

【神 戶】 潛五七、潛五九、潛六八、隱戶

【佐世保】 陸奥、利根、由良、鞍馬、生駒、肥前、

敷島、常磐、須磨、最上、淀、宇治、口榑、口松、杉、口檜、檜、柳、梅、蓬、口白雪、叢、野分、松風、口潛二一、口潛一八、口潛四三、口潛四二、口潛三一、口潛四五、口潛六二、口鷲、鶉、雲雀、鶴、知床、榊、佐多、鶴見、青島

【長 崎】 駟三

【馬 公】 口出雲、警手、淺間、口樺、櫻、橘

【枋 養】 木曾

口時津風、磯風、天津風、濱風、鵬五、水七二、水七三、水七四、水七五、大井、鹿島、谷取、平戸、吾妻、

【鎮 海】 口楓、棉、桂、口潛三三、潛三一

【元 山】 梅

【旅 順】 口若葉、朝風、潮、子日

【南洋群島】 勝力

【浦 潮】 日進、大泊  
 【上 海】 新海  
 【九 江】 對馬  
 【宜 昌】 磯峨  
 【長 沙】 伏見  
 【重 慶】 岡田  
 【馬 尾】 鳥羽  
 桐

【航海中】

能登呂(三日吳發)「バツクパン」( )  
 安宅(十二日上海發漢口) ( )  
 室戸(十三日橫須賀發吳) ( )  
 尻矢(十三日橫須賀發)「バツクパン」( )  
 北上、口野風、沼風、波風、口太刀風、帆風、夕風、沙風  
 (十四日橫須賀發有明灣) ( )  
 口長門、口金剛、口筑摩、滿州、口潛二八、潛二九、  
 潛三〇、口潛四七、口潛四六(十五日橫須賀發有明灣) ( )  
 伊勢、日向(十五日吳發有明灣) ( )  
 口球磨、多摩(十五日宮島發有明灣) ( )  
 口名取、長良、霧島、比叡、口龍田、口梨、梶、樅、竹、  
 口柿、檜、栗、口廣、菱、菫、口蓼、蓮、鵬二(十五日佐世保  
 發有明灣) ( )  
 口矢矧、韓崎、口潛三四、潛三五、潛三六(十五日安下庄

發有明灣へ)  
野島(十五日西戸崎發吳へ)

○雜款

○特務艦石廊行動豫定

地	名	着	發
吳	パロットクバン	二月七日	一月二十五日
德	山	二十六日	二月十二日
吳		三月三日	三月二日

○特務艦鶴見行動豫定

地	名	着	發
佐	世保	二月三日	一月二十五日
タ	ラカン	十二日	二月八日
マ	ニラ	二十一日	十四日

○滯在地變更  
海軍大尉曾山由之ハ吳ヨリ横須賀へ滯在地變更ノ儀一月十二日認許セラレタリ

○電話架設

高輪 一三七

海軍省人事局局員  
海軍中佐 阿武 清  
府下北品川三七四

海軍公報 第三千七十六號 大正十二年一月十六日

(部内限一頁)

三三三

# 海軍公報

第三千七十七號

海軍大臣官房

大正十二年一月十七日(水)

## ○辭令

○大正十二年一月十六日

任海軍書記

給月俸五拾貳圓

久田 義比

水路部附ヲ命ス

海軍書記 久田 義比  
海軍技手 西 保太郎

依願免本官(以上海軍省)

海軍書記 永井 順

歸朝ヲ命ス(海軍省)

## ○艦船所在

▲印ハ、ホノ  
指定ヲ要セス

○一月十七日午前十時調

【横須賀】

山城、阿蘇、鳳翔、加賀、安藝、薩摩、

【横須賀】

榛名、若宮、朝日、三笠、八雲、春日、千早、驅、

【峯風、澤風、沖風、矢風、日灘風、秋風、羽風、

島風、日夕立、白鷺、三日月、夕暮、日初雪、

春風、初春、日響、如月、神風、初霜吹雪、有明、

日藤、萩、薄、葛、浦風、夕風、時雨、日港九、日港八、

日港一四、日港一五、日港四〇、日港三八、日港三九、日港四一、

日港五八、日港九、日港關東、武藏、松江、富士、神威、

洲崎

【石川島】 薰、驅二〇

【浦賀】 五十鈴

【横濱】 高崎

【大湊】 日椿、樺、楨、桑

【吳】 鬼怒、天龍、駒橋、土佐、扶桑、攝津、

伊吹、千歲、明石、日綾波、追風、疾風、潮生、日卯月、

浦波、磯波、菊月、長月、水無月、日谷風、江風、

菊、葵、日海風、山風、檜、榎、驅四、日港二六、

日港二五、日港二七、日港一〇、日港一一、日港一二、

日港一三、日港一六、日港一七、日港二三、日港一九、

日港二〇、日港三七、日港三二、日港二四、日港四四、日港五一、

早鞆、大和、膠州、石廊、野間、劍崎、室戶、野島

【大阪】 驅一六

【神戸】 潛五七、潛五九、潛六八、隱戶

【佐世保】 利根、由良、鞍馬、生駒、肥前、

敷島、常磐、須磨、最上、淀、宇治、日嶺、柏、

海軍公報 第三千七十七號 大正十二年一月十七日

三五

1301



松、杉、  
野分、松風、  
潜三二、  
知床、  
鹿兒島、  
有明灣、  
舞鶴、  
元山、  
鎮海、  
旅順、  
南洋群島、  
浦潮、  
上海、  
九江、  
宜昌、  
長沙、  
重慶、  
馬尾

【長崎】

伊勢、  
球磨、  
多摩、  
霧島、  
比叡、  
矢矧、  
韓崎、  
潜三四、  
潜三五、  
潜三六

【馬公】

出雲、  
鷲手、  
淺間、  
樺、  
櫻、  
橘

【舞鶴】

大井、  
鹿島、  
香取、  
平戸、  
吾妻、  
時津風、  
磯風、  
天津風、  
濱風、  
駒五、  
水七二、  
水七三、  
水七四、  
水七五

【元山】

梅、  
楓、  
楠、  
桂、  
潜三三、  
潜三二

【旅順】

若葉、  
朝風、  
潮、  
子日

【南洋群島】

勝利、  
大泊

【浦潮】

日進、  
新高

【上海】

對馬

【九江】

嵯峨

【宜昌】

伏見

【長沙】

陰田

【重慶】

鳥羽

【馬尾】

桐

【航海中】

能登呂三日吳發「バリックパン」へ

安宅(十二日上海發漢口へ)

尻矢(十三日横須賀發「バリックパン」へ)

北上、  
野風、  
沼風、  
波風、  
太刀風、  
帆風、  
夕風、  
沙風

(十四日横須賀發有明灣へ)

長門、  
金剛(十五日横須賀發有明灣へ)

名取、  
長良、  
龍田、  
梨、  
桐、  
樅、  
竹、  
梯、  
楡、  
栗、  
隊、  
草、  
蓼、  
蓮、  
驅二(十五日佐世保發有明灣へ)

陸奥(十六日佐世保發有明灣へ)

日向(十七日內海發有明灣へ)

筑摩、  
滿州、  
潜二八、  
潜二九、  
潜三〇、  
潜四七、  
潜四六(十七日清水發有明灣へ)

木曾(十七日枋寮發海口へ)

○雜款

司令驅逐艦變更

第七驅逐隊司令ハ本月十五日司令驅逐艦ヲ春風ヨリ初

雪ニ變更セリ

海軍大佐正六位勳四等阴田益吉本月十六日特務艦  
武藏ニ於テ病死、十七日午前十時三十分特務艦武  
藏ニテ告別式ヲ行ヒ、二十日午後二時東京府下西  
巢鴨池袋(目白驛下車)大原一三九六番地自宅ニ於  
テ告別式執行ス

海軍特務中尉正七位勳五等功七級高橋勘左工門本  
月十五日死去セリ

海軍公報附錄

大正十二年一月十七日(水)  
海軍大臣官房

○辭令

平井ふぢ  
故海軍兵曹長勳六等平井晉三郎戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金四百五十圓ヲ賜フ  
白石久見  
故海軍兵曹長勳七等白石和一戰役ノ功ニ依リ特ニ金  
五百七十圓ヲ賜フ  
小林庚  
故海軍兵曹長勳七等小林覺三郎戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金四百五十圓ヲ賜フ  
山田はな  
故海軍兵曹長勳七等山田爲次郎戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金貳百六十圓ヲ賜フ  
島山キヨ  
故海軍機關兵曹長勳七等島山由平戰役ノ功ニ依リ特  
ニ金參百五十圓ヲ賜フ  
岩田梅鶴  
故海軍船匠兵曹長勳六等岩田伊七戰役ノ功ニ依リ特  
ニ金貳百四十圓ヲ賜フ

吉村たかを  
故海軍一等兵曹勳七等吉村定一戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金四百五十圓ヲ賜フ  
關はる  
故海軍一等兵曹勳七等關保方戰役ノ功ニ依リ特ニ金  
四百貳拾圓ヲ賜フ  
山西あき  
故海軍一等兵曹勳七等山西清助戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金參百七十圓ヲ賜フ  
川畑長松  
故海軍一等兵曹勳七等川畑鉄五郎戰役ノ功ニ依リ特  
ニ金參百四十圓ヲ賜フ  
川邊チヨ  
故海軍一等兵曹勳七等川邊爲吉戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金參百圓ヲ賜フ  
岡田八重  
故海軍一等船匠兵曹勳七等岡田増次郎戰役ノ功ニ依  
リ特ニ金貳百八十圓ヲ賜フ  
山本庄十郎  
故海軍二等兵曹勳八等山本正一戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金四百貳拾圓ヲ賜フ

海軍公報 附錄

神澤 忠つ

故海軍二等兵曹勳八等神澤朝光戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金參百五拾圓ヲ賜フ

前田 マサ

故海軍二等兵曹勳八等前田庄太郎戰役ノ功ニ依リ特  
ニ金貳百七拾圓ヲ賜フ

畑 みつ

故海軍二等機關兵曹勳八等畑作次郎戰役ノ功ニ依リ  
特ニ金四百貳拾圓ヲ賜フ

横山 泰治

故海軍二等機關兵曹勳八等横山喜勝治戰役ノ功ニ依  
リ特ニ金參百七拾圓ヲ賜フ

見田 吉治

故海軍三等兵曹勳八等見田爲治戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金四百七拾圓ヲ賜フ

鈴木 とよ

故海軍三等兵曹勳八等鈴木末松戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金四百七拾圓ヲ賜フ

菅谷 徳心

故海軍三等兵曹勳八等菅谷千太郎戰役ノ功ニ依リ特  
ニ金四百七拾圓ヲ賜フ

平林 不作

故海軍三等兵曹勳八等平林友之助戰役ノ功ニ依リ特  
ニ金四百五拾圓ヲ賜フ

仲野 桂藏

故海軍三等兵曹勳八等仲野直樹戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金四百參拾圓ヲ賜フ

佐藤 新三

故海軍三等兵曹勳八等佐藤友三戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金四百參拾圓ヲ賜フ

古岡 すす

故海軍三等兵曹勳八等古岡勇正戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金四百參拾圓ヲ賜フ

坪川 ふみ

故海軍三等兵曹勳八等坪川由松戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金參百五拾圓ヲ賜フ

細野 定吉

故海軍三等兵曹細野信次戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百  
九拾圓ヲ賜フ

佐古田 長造

故海軍三等兵曹佐古田喜代之助戰役ノ功ニ依リ特ニ  
金參百九拾圓ヲ賜フ

杉浦 吉藏

故海軍三等兵曹杉浦龍藏戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百  
六拾五圓ヲ賜フ

由良 源藏

故海軍三等兵曹由良秋藏戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百  
四拾圓ヲ賜フ

故海軍三等機關兵曹勳八等長田蕃富戰役ノ功ニ依リ  
 特ニ金四百九拾圓ヲ賜フ  
 富田己之助  
 故海軍三等機關兵曹勳八等富田孝一郎戰役ノ功ニ依  
 リ特ニ金四百九拾圓ヲ賜フ  
 平塚安治郎  
 故海軍三等機關兵曹勳八等平塚啓太郎戰役ノ功ニ依  
 リ特ニ金參百五拾圓ヲ賜フ  
 花邑法觀  
 故海軍一等水兵勳八等花邑興仁戰役ノ功ニ依リ特ニ  
 金貳百六拾圓ヲ賜フ  
 中谷六之助  
 故海軍一等水兵中谷利兵衛戰役ノ功ニ依リ特ニ金參  
 百貳拾五圓ヲ賜フ  
 佐藤かく  
 故海軍一等水兵佐藤信好戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百  
 貳拾五圓ヲ賜フ  
 野澤次三郎  
 故海軍一等水兵野澤久三戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百  
 貳拾五圓ヲ賜フ  
 福井辰藏  
 故海軍一等水兵福井延三郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金參  
 百貳拾五圓ヲ賜フ

故海軍一等水兵大矢和一郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金參  
 百貳拾五圓ヲ賜フ  
 大矢彌三吉  
 故海軍一等水兵吉田賢治戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百  
 貳拾五圓ヲ賜フ  
 吉田直吉  
 故海軍一等水兵淵田治孝戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百  
 拾圓ヲ賜フ  
 淵田すゑ  
 故海軍一等水兵桂川孝平戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百  
 五圓ヲ賜フ  
 桂川清市  
 故海軍一等機關兵山添梅雄戰役ノ功ニ依リ特ニ金參  
 百貳拾五圓ヲ賜フ  
 山添巳之助  
 故海軍一等機關兵宮原英和治戰役ノ功ニ依リ特ニ金  
 參百貳拾五圓ヲ賜フ  
 宮原和三郎  
 故海軍一等機關兵原喜代松戰役ノ功ニ依リ特ニ金參  
 百貳拾五圓ヲ賜フ  
 原龜吉  
 故海軍一等機關兵野村六良吉戰役ノ功ニ依リ特ニ金  
 參百貳拾五圓ヲ賜フ  
 野村時治郎

西嶋てい  
故海軍一等機關兵西嶋茂哉役ノ功ニ依リ特ニ金貳百七拾圓ヲ賜フ

千野万五郎  
故海軍一等機關兵千野準四郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百五拾五圓ヲ賜フ

佐藤ハツ  
故海軍一等機關兵佐藤忠太郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百五拾五圓ヲ賜フ

近記多藏  
故海軍一等機關兵近記新吾戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百五拾五圓ヲ賜フ

河野多左工門  
故海軍一等船匠兵河野繁泰戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百貳拾五圓ヲ賜フ

柿本仁右衛門  
故海軍一等主計兵柿本修次戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百五拾五圓ヲ賜フ

本田連八  
故海軍二等水兵本田勇四郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

細谷春藏  
故海軍二等水兵細谷文吾戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

鈴木源次郎  
故海軍二等水兵鈴木虎雄戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

横川三郎  
故海軍二等水兵横川收吉戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

中村音次郎  
故海軍二等水兵中村好三郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

寺山善次郎  
故海軍二等水兵寺山豐藏戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

山田權四郎  
故海軍二等水兵山田福松戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

中西與三郎  
故海軍二等水兵中西與一戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

辻清吉  
故海軍二等水兵辻勢吾戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

藤井彌左工門  
故海軍二等水兵藤井貞戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

北村 久作  
 故海軍二等水兵北村政雄戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

鈴木 キミ  
 故海軍二等水兵鈴木利作戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

堀田 いと  
 故海軍二等水兵堀田友次戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

中島 金太郎  
 故海軍二等水兵中島吉平戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

中條 礪石工門  
 故海軍二等水兵中條武夫戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

安藤 久次郎  
 故海軍二等水兵安藤慎末戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

新井市之助  
 故海軍二等水兵新井里治戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

角野 佐吉  
 故海軍二等機關兵角野勘三戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

須澤 作藏  
 故海軍二等機關兵須澤種一戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

茶谷 角藏  
 故海軍二等機關兵茶谷平治戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

越田 けさ  
 故海軍二等機關兵越田晉平戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

渡部 蔦江  
 故海軍二等機關兵渡部健治戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

河村 新右衛門  
 故海軍二等機關兵河村眞一戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

多東 五一  
 故海軍二等機關兵多東寅二戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

高島 二三郎  
 故海軍二等機關兵高島作之丞戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

松岡 米次郎  
 故海軍二等機關兵松岡義治戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

田村 孫市  
故海軍二等船匠兵田村定次郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

山田 才助  
故海軍二等看護兵山田正義戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

村田 彦三郎  
故海軍二等主計兵村田政範戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

柳井新太郎  
故海軍二等主計兵柳井盛人戰役ノ功ニ依リ特ニ金參百圓ヲ賜フ

村本 一郎  
故海軍三等水兵村本忠義戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百七拾五圓ヲ賜フ

松林 フキ  
故海軍三等水兵松林音吉戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百七拾五圓ヲ賜フ

野尻 豊吉  
故海軍三等水兵野尻齊戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百七拾五圓ヲ賜フ

青木 久吉  
故海軍三等水兵青木貞雄戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百七拾五圓ヲ賜フ

吉田 小作  
故海軍三等水兵吉田信太郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百七拾五圓ヲ賜フ

松原政次郎  
故海軍三等水兵松原政美戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百七拾五圓ヲ賜フ

關 藤市郎  
故海軍三等機關兵關英一戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百七拾五圓ヲ賜フ

宇野 益之  
故海軍三等機關兵宇野武戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百七拾五圓ヲ賜フ

安井初三郎  
故海軍三等機關兵安井一郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百七拾五圓ヲ賜フ

米田 さき  
故海軍三等機關兵米田外一戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百七拾五圓ヲ賜フ

中野 徳松  
故海軍三等船匠兵中野傳次戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百七拾五圓ヲ賜フ

藤森 巳之助  
故海軍三等主計兵藤森久利戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百七拾五圓ヲ賜フ(以上海軍省)



# 海軍公報

第三千七十八號

海軍大臣官房

大正十二年一月十八日(木)

## ○令達

官房第一五九號

大正十二年一月十八日

海軍大臣男爵 加藤友三郎

各鎮守府司令長官  
第一艦隊司令長官  
各要港部司令官

參謀長會議ノ件

大正十二年參謀長會議ヲ來ル五月五日ヨリ十三日間ノ豫定ヲ以テ開催條參謀長ヲシテ其ノ前日迄ニ上京セシムヘシ  
右訓令ス

## ○通牒

經豫第一三號

四種正等船ヤカクノ五二號  
ニテ本号自他消滅

自然  
消滅

海軍公報 第三千七十八號

大正十二年一月十八日

三九

大正十二年一月十八日

海軍省經理局長 志佐 勝

各支出官殿

海軍會計規程第三十七條ニ依ル支出濟額報告書ハ繰越計算書附屬明細書作製上必要有之候條毎年二月分以降ニ限リ目途掲記提出相成度  
右通牒ス

## ○辭令

歸朝ヲ命ス

海軍技手 近藤 正信

海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手

兼海軍航空機試驗所附ヲ命ス(以上海軍省)

## ○艦船所在

△印ハ「ハ」ホテ  
指定ヲ要セズ

○一月十八日午前十時調

【横須賀】 山城、阿蘇、鳳翔、加賀、安藝、薩摩、

<p>榛名、若宮、朝日、三笠、八雲、春日、千早、駒一、        島風、澤風、沖風、矢風、瀨風、秋風、羽風、        島風、口夕立、白露、三日月、夕暮、口初雪、        春風、初春、口響、如月、神風、初霜、吹雪、有明、        口藤、萩、蕪、浦風、夕風、時雨、口潛九、潛八、        口潛四、潛一五、口潛四〇、潛三八、潛三九、潛四一、        口潛五八、口雄、鷗、鴻、關東、武藏、松江、富士、神威、        別崎</p>	<p>石川島 真、駒一〇</p>	<p>浦賀 五十鈴</p>	<p>大湊 高崎、口椿、榎、榎、桑</p>	<p>吳 吳怒、天龍、駒橋、土佐、扶桑、攝津、        伊吹、千歲、明石、口杉波、道風、疾風、彌生、口卯月、        浦波、磯波、菊月、長月、水無月、口谷風、江風、        菊、葵、口海風、山風、桐、口駒四、口潛二六、        口潛二五、口潛二七、口潛一〇、口潛一一、口潛一二、        口潛一三、口潛一六、口潛一七、口潛二三、口潛一九、        口潛二〇、口潛三七、口潛二二、口潛二四、口潛四四、口潛五一、        早朝、大和、膠州、石廊、野間、劍崎、室戶、野島</p>	<p>天 駒一六        神 駒一六        佐世保 利根、由良、鞍馬、生駒、肥前、        敷島、常磐、須磨、最上、淀、宇治、口榎、和、        松、杉、口櫻、檜、桃、柳、榊、蓬、口白雪、叢</p>							
<p>野分、松風、口潛三一、口潛一八、口潛四三、口潛四二、        口潛三一、口潛四五、口潛六一、口鷲、鶉、雲雀、鶴、        知床、襟裳、佐多、鶴見</p>	<p>長崎 駒三</p>	<p>有明灣 口長門、陸奥、伊勢、日向、口球磨、多摩、        口龍田、口梨、榎、樅、竹、口柿、榆、栗、口茨、菱、        口蓼、蓮、口駒一、口金剛、霧島、比叡、口名取、長良、        口北上、口野風、沼風、波風、口太刀風、帆風、夕風、        口沙風、口矢矧、韓崎、口潛三四、口潛三五、口潛三六、        口馬公、口山雲、磐手、淺間、口樺、櫻、橘、        口舞鶴、口大井、鹿島、香取、口平戶、口吾妻、        口時津風、口磯風、天津風、濱風、駒五、水七二、水七三、        水七四、水七五</p>	<p>鎮海 口楓、口榎、口桂、口潛三三、口潛三二</p>	<p>元山 口海</p>	<p>旅順 口若葉、朝風、潮、子日</p>	<p>南洋群島 勝力</p>	<p>浦潮 日進、大泊</p>	<p>上海 新高</p>	<p>九江 對馬</p>	<p>沙市 伏見</p>	<p>重慶 鳥羽</p>	<p>馬尾 桐</p>

【海 口】 木會

【航海中】

能登呂(三日吳發「バリックバン」へ)

▲安宅(十二日上海發漢口へ)

尻矢(十三日横須賀發「バリックバン」へ)

▲筑摩、滿州、口潜二八、潜二九、潜三〇、口潜四七、

潜四六(十七日清水發有明灣へ)

青島(十七日佐世保發舞鶴へ)

○ 雜 款

○潜水艦進水

神戸川崎造船所ニ於テ建造ノ第六十九潜水艦本日午前八時進水セリ

○特務艦青島行動豫定中變更(本月六日)  
(本欄参照)

地 名 著 發

舞 鶴 一月二十三日

德 山 一月二十五日

吳 二月二十七日

横須賀 二月二日

○改正

海軍技手秋山喜真太ハ岡山縣荒尾家へ入籍ノ旨届出ツ

○「ベスト」發生報(一月十七日)  
(内務省衛生局)

一月七日大阪市南區高津町鼯鼠一頭、同月十二日高津署部内收得鼠一頭有菌鼠ト決定

海軍機關特務中尉從七位勳五等塚田菊次郎一月十七日午前六時病死、來ル二十日午前十一時茨城縣霞ケ浦海軍航空隊ニ於テ佛式ニ依リ海軍葬儀施行

海軍公報 第三千七十八號

大正十二年一月十八日

(部内限一頁)

四一

# 海軍公報

第三千七十九號

大正十二年一月十九日(金)

海軍大臣官房

## ○通牒

官房第一八〇號

大正十二年一月十九日

海軍省副官 藤田 尙徳

艦隊、鎮守府、要港部參謀長(參謀)殿

汽船「トロール」漁業許可證  
名義變更ノ件

本件ニ關シ左記ノ通農商務省水産局ヨリ通知アリタリ  
右通牒ス

山口縣下關市卯之町三十二番地日正水産株式會社ハ同  
所日本水産株式會社ヨリ左記「トロール」汽船ヲ讓受  
ケタルニ付其ノ許可名義ヲ同社ニ變更セリ

許可番號	船名	許可期間	記事
------	----	------	----

第八五號	景雲丸	大正十二年一月十五日ヨリ拾壹年	大正十一年十一月二十九日海軍公報第三千四十二號參照
------	-----	-----------------	---------------------------

海軍公報 第三千七十九號 大正十二年一月十九日

海人第四號

大正十二年一月十九日

海軍省人事局長 古川 鈿三郎

各廳長 殿

寫眞提出ノ件

海軍准士官以上履歷書及身上取扱規則第十一條ノニニ  
依ル寫眞未提出者ハ此ノ際可成速ニ送付候様御示達相  
成度  
右申進ス

## ○辭令

海軍書記 久田 義比  
會計課勤務ヲ命ス(海軍水路部)

## ○艦船所在

▲印ハハホフ  
指定ヲ要セス

○一月十九日午前十時調

四三

1313

【嶺須賀】 山城、阿蘇、鳳翔、加賀、安藝、薩摩、  
 榛名、若宮、朝日、三笠、八雲、春日、千早、驅一、  
 峯風、澤風、沖風、矢風、瀨風、秋風、羽風、  
 島風、夕立、白露、三日月、夕暮、初雪、  
 春風、初春、響、如月、神風、初霜、吹雪、有明、  
 藤、萩、薄、葛、浦風、夕風、時雨、潛九、潛八、  
 潛一四、潛一五、潛四〇、潛三八、潛三九、潛四一、  
 潛五八、雉、鷗、瀨、關東、武藏、松江、富士、神威、  
 洲崎

【石川島】 董、驅二〇

【浦賀】 五十鈴

【大湊】 鬼怒、天龍、駒橋、土佐、扶桑、攝津、  
 伊吹、千歲、明石、綾波、追風、疾風、彌生、卯月、  
 浦波、磯波、菊月、長月、水無月、谷風、江風、  
 菊、葵、海風、山風、檜、驅四、潛二六、  
 潛二五、潛二七、潛一〇、潛一一、潛一二、  
 潛一三、潛一六、潛一七、潛二三、潛一九、  
 潛二〇、潛三七、潛二二、潛二四、潛四四、潛五一、  
 早鞆、大和、膠州、石廊、野間、劍崎、室戶、野鳥

【大坂】 驅一六

【神戸】 潛五七、潛五九、潛六八、潛六九、隱月

【佐世保】 利根、由良、鞍馬、生駒、肥前、  
 敷島、常磐、須磨、最上、淀、宇治、神、相、  
 松、杉、樫、檜、桃、柳、梅、蓬、白雪、霞、

野分、松風、潛三一、潛一八、潛四三、潛四二、  
 潛三一、潛四五、潛六二、鷲、鶉、雲雀、鶴、  
 知床、襟裳、佐多、鶴見

【長崎】 驅三

【有明灣】 長門、陸奥、伊勢、日向、球磨、多摩、  
 龍田、梨、榎、竹、柿、榆、栗、萩、菱、葦、  
 蓼、蓮、驅二、金剛、霧島、比叡、名取、長良、  
 北上、野風、沼風、波風、太刀風、帆風、夕風、  
 沙風、矢矧、韓崎、潛三四、潛三五、潛三六

【馬公】 出雲、磐手、淺間、樺、櫻、橘

【舊壘鼻沖】 木曾

【舞鶴】 大井、鹿島、香取、平戸、吾妻、  
 時津風、磯風、天津風、濱風、驅五、水七二、水七三、  
 水七四、水七五

【鎮海】 楓、楠、桂、潛三三、潛三一

【元山】 梅

【旅順】 若葉、朝風、潮、子日

【南洋群島】 勝利

【浦湖】 日進

【九江】 新高

【沙市】 蟻峨

【長沙】 伏見

【重慶】 岡田

【馬尾】 鳥羽

【航海中】

能登呂(三日吳發「バリックパン」)

▷安宅(十二日上海發漢口)

尻矢(十三日横須賀發「バリックパン」)

▷筑摩、蒲州、B潜二八、潜二九、潜三〇、B潜四七、  
潜四六(十七日清水發有明灣)

青島(十七日佐世保發舞鶴)

對馬(十八日上海發蕪湖)

大泊(十八日浦潮發亞港)

高崎(十八日横濱發大阪)

○雜款

○郵便物發送先

軍艦鬼怒宛

自今

山口縣三田尻

第一驅逐艦宛

自今

吳

○行動豫定中變更(本月十五日  
本欄参照)

特務艦野島行動豫定中大阪ヲ神戸ニ變更セリ

海軍公報 第三千七十九號

大正十二年一月十九日

(部内限一頁、別表一枚)

四五

# 海軍公報

第三千八十號

海軍大臣官房

大正十二年一月二十日(土)

## ○辭令

文部技師 大石 和二郎  
霞ヶ浦海軍航空隊練習部ニ於ケル氣象學教授ヲ囑託  
シ報酬月額五拾圓ヲ贈與ス(海軍省)

海軍大佐 植村 茂夫

恩賜研學資金受賞者銜委員ヲ命ス  
海軍武功調査委員ヲ命ス

陸海軍行賞事務協定特別委員ヲ命ス  
大正三年乃至九年戰役從軍記章授與調査委員ヲ命ス  
戰捷記章授與調査委員ヲ命ス(以上海軍省)

## ○艦船所在

△印ハハホフ  
指定ヲ要セス

○一月二十日午前十時調

【横須賀】 山城、阿蘇、鳳翔、加賀、安藝、薩摩、  
榛名、若宮、朝日、三笠、八雲、春日、千早、驅、  
口峯風、澤風、沖風、矢風、口灘風、秋風、羽風、  
島風、口夕立、白露、三日月、夕暮、口初雪、

春風、初春、口響、如月、神風、初霜、吹雪、有明、  
口藤、萩、薄、葛、浦風、夕風、時雨、口潜九、潜八、  
口潜一四、潜一五、口潜四〇、潜三八、潜三九、潜四一、  
潜五八、關東、武藏、松江、神威、洲崎

【石川島】 董、驅一〇

【浦賀】 五十鈴

【館山】 口雄、鷗、鴻

【大湊】 口椿、樺、楨、桑

【吳】 鬼怒、天龍、駒橋、土佐、扶桑、攝津、  
伊吹、千歲、明石、口綾波、追風、疾風、彌生、口卯月、  
浦波、磯波、菊月、長月、水無月、口谷風、江風、  
菊英、口海風、山風、檜、櫻、驅四、口潜二六、  
潜二五、潜二七、口潜一〇、潜一一、潜一二、  
口潜一三、潜一六、潜一七、口潜二三、潜一九、  
潜二〇、口潜三七、潜二二、潜二四、潜四四、潜五一、  
早鞆、大和、膠州、石廊、野間、劍埼、室戸、野島

【大阪】 驅一六

【神戸】 潜五七、潜五九、潜六八、潜六九、隱戶、  
口名取、長良

【徳山】 利根、由良、鞍馬、生駒、肥前、  
【佐世保】 敷島、常磐、須磨、最上、淀、宇治、口榑、柏、

海軍公報 第三千八十號 大正十二年一月二十日

四七

松、杉、檜、檜、柳、梅、蓮、白雲、霞、野分、松風、潜二、潜一八、潜四三、潜四二、潜三一、潜四五、潜六二、鷲、鶉、雲雀、鶴、知床、襟裳、佐多、鶴見

【長】

【有明】 口長門、陸奥、伊勢、日向、球磨、多摩、龍田、梨、榎、竹、柿、榆、栗、萩、菱、葦、蓼、蓮、鵬、筑摩、潮州、潜二八、潜二九、潜三〇、潜四七、潜四六、韓崎

【馬】

【舞】 鶴、大井、鹿島、香取、平戸、吾妻、時津風、磯風、天津風、濱風、鵬五、水七二、水七三、水七四、水七五、青島

【鎮】

【元】 山、梅、若葉、朝風、潮、子日

【旅】

【南洋群島】 勝力

【浦】

【潮】 日進

【漢】

【日】 新安宅

【九】

【江】 艦

【沙】

【市】 伏見

【長】

【沙】 岡田

【重】

【慶】 鳥羽

【馬】

【尾】 桐

【パツクパン】 能登呂

【航海中】

尻矢(十三日横須賀發「パツクパン」)  
對馬(十八日上海發燕湖)  
大泊(十八日浦潮發並港)  
高崎(十八日横濱發大阪)  
富士(十八日横須賀發吳)  
木曾(十九日鷲鼻沖發高雄)  
磐手、出雲、淺間(十九日馬公發基隆)  
口金剛、霧島、比叡、北上、野風、沼風、波風、太刀風、帆風、夕風、沙風、矢矧、潜三四、潜三五、潜三六(十九日有明灣發周防灘)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

練習艦隊司令官ハ昨十九日旗艦ヲ出雲ヨリ磐手ニ變更セリ

○ 郵便物發送先

吳海軍工廠火藥試驗所宛郵便物ハ自今左記ノ通、廣島縣吉浦郵便局區内、吳海軍工廠火藥試驗所



○郵便物發送先變更(本月十五日)  
(本欄参照)

特務艦野島宛

一月二十二日迄到着見込ノモノハ  
神 戸  
横 須 賀  
其ノ後ハ

○改姓

海軍軍醫學生右田靜夫ハ村尾ト改姓ノ旨一月十八日届  
出タリ

○「ペスト」發生報(一月十九日)  
(内務省衛生局)

一月十七日大阪市南區下寺町四丁目巡查派出所買收鼠  
一頭有菌鼠ト決定

累 計

真 症	八〇名
疑似症	五五名
有菌鼠	二六頭
有菌猫	一五頭